



さゆりっ子

令和6年度 元気いっぱいスタート！

笑顔いっぱいの園児たちと令和6年度が始まりました。子どもたちは思い思いに春を満喫し、園庭を嬉しそうにかけ回っています。

新しい友だちや先生と少しずつ園生活に慣れようとしている園児の頑張っている姿がとても印象的でした。

どんなお楽しみが待っているかな！



玄関の掲示板をリニューアルしました。
今回の掲示物は『信学会さゆり幼稚園のカリキュラム』になります。

カリキュラムって何？

一言で言うと“子どもの遊びの履歴”です。カリキュラムという言葉にもいろいろな解釈がありますが、「欧州では馬車が通った後に残された轍（わだち）」がもともとの意味であり、そこから『子どもたちが残してきた遊びの足跡（遊びの履歴）』ととらえています。昨年度各学年、クラスで作成されたものを再利用しようと集めてみました。

保育を進めるに当たり、一年間の目標、学期毎、月毎、週毎、一日のねらいを定めています。その上に立って保育士が“どんな環境を用意したらいいかな”“子どもの興味をどうつなげていこうかな”と考えていくとその子に応じた様々な活動が繰り広げられます。一枚一枚に子どもや先生の声や思いがた



くさん書き込まれているので、どんな足跡を残してきているのかととってもわかりやすいと思います。そして未満さんから年長さんまでが並んでいるのでさゆり幼稚園に通う間に経験できることも想像していけるかと思えます。ご活用ください。

『園の教育方針』は職員室前の掲示板に移動しました。



信学会さゆり幼稚園の目標の

“かんじる心

ちょうせんする心

げんきいっぱい さゆりっこ “

と、考え方の基盤としている『遊びは学び』を重ね合わせ、子どもの姿で表現しました。

- 1 じっくりと遊び込む
- 2 楽しさを感じ合う
- 3 なかよく遊ぶ

「遊ぶ」から「遊び込む」へ、「感じる」から「感じ合う」へ、そして「なかよく」が深まっていくようにこの3つの視点から子どもたちの姿（主体性）を見つめていきたいと思っています。（詳細は「令和6年度 信学会さゆり幼稚園 教育方針（グランドデザイン）をご覧ください。」）

チューリップさん どうぞ（4/9） <園長の心のつぶやき>

年長さんになった男子がチューリップを一輪持ってきてくれた。もらった時には、立派な大きなつぼみはまだまだ緑色であった。手作りの入れ物（湿らせた紙をアルミでくるんでヤクルトの容器に入れてくれた）でチューリップはとでもがんばって立って来ていた。

翌日登園してみるとつぼみ全体がピンク色になってきていた。翌々日には少しつぼみが開き始め、鮮やかさも増していた。

こんなにも日ごとの変化が大きいものかとびっくりさせられた。

久しぶりに顔を合わせた子、初めましてで出会う子。どの子もこの時期は毎日新しい発見があるように感じると同時に気づける幸せがある。この新鮮さを忘れずに子どもたちとずっと対していきたい。



じゃれつき遊び（4/11）

栃木県のさつき幼稚園の実践で「じゃれつき遊び」が紹介されていた。

言葉の通り、特に決まったルールがなく、とにかく子ども同士、時には大人も交じってじゃれ合う。マットの上でジャンプしたり、押し合ったり、時にはつぶし合う。大人が入るとマットに向かって投げられることも。年長さんにでもなると結構ハードな動きになる。

A 「人と人とが心と身体を交わし、本気で触れ合い、ぶつかり合うこと。それは、かつての遊びの中にはたくさんあったはずです。」

B 「しり相撲をとったり、押しくらまんじゅうをしたり。」

A 「赤ちゃんであれば、「高い高い」や「飛行機ぶーん」などはやっているかな。」

B 「年齢に関係なく、安全への配慮は必要だけれど、身体接触のある遊びは、やっぱり高揚感が違いますね。」

A 「身体接触も脳に効きます。「じゃれつき遊び」改めて見直されてほしい遊びです。」

筆者と編集者のやり取りが刺激的であり、うなずけた。

ことしもよろしくお願ひいたします。

令和6年度 信学会さゆり幼稚園 教育方針（グランドデザイン）



《信学会の教育方針》

子どもたちの主体的な学びと、他者との関わりで生まれる経験を通じて、
生涯にわたり自ら学び続ける人間を育てる

主体性と学び
遊びの中から育てる

子どもが主役

新たな経験との
出会い



信学会さゆり幼稚園の目標

かんじる心 ちょうせんする心 げんきいっぱい さゆりっこ

めざす子どもの姿

友だちと元気よく遊ぶ子



気づき考えて
粘り強く行動する子

まわりのものに
自らかかわろうとする子

きもちよくあいさつ、
返事の言える子

力をいれていく実践的活動

遊びは学び

一人ひとりのかかわる姿（主体性）
を大切にする保育

体を動かし、
心も体も元気に

○じっくりと遊び込む。

○元気いっぱい遊ぶ。

（朝の体操・体をつかった遊び・集団遊び）

たのしそう、おもしろそう
やってみよう

○つくる、あらかわす楽しさを感じ合う。

○季節、自然を楽しむ。

（作品作り・お楽しみ発表会・季節の行事・園外保育）

おはよう、ありがとうで
みんないい気持ち

○いっしょになかよく遊ぶ。

○心のこもったことばを伝え合う。

（お誕生会・なかよしの日・感謝訪問）

私たちが大切にしていくこと

環境づくり

身近なひと、もの、こと、すべてが遊びの出発点。興味、関心を触発する環境をつくる。

子ども理解

保育を進める基盤。育ちの記録で広め、深める。ラーニングストーリーで家庭と共有する。

安心・安全への配慮

迅速な対応。怪我をさせない施設管理、見守りと個々への丁寧な対応に努める。